

◎第12回理事会(42.5.12)出席者:篠原会長, 畑谷, 最上両副会長, 羽田専務理事, 青木, 飯吉, 内林, 久保, 米谷, 堺, 佐藤, 多谷, 友田, 成岡, 広瀬, 耳野, 村上, 横戸の各理事, 井関監事。議事録署名理事の決定:篠原会長, 羽田専務理事, 久保理事。A. 報告事項:つぎの各項につき羽田専務理事より報告があり了承された; 1) 各種委員会報告。2) 刊行物頒布報告。3) その他。B. 議事: 1) 昭和42年度理事・監事選挙結果を承認。2) 昭和41年度事業報告および決算報告を承認。3) 基金繰入れについて。4) その他。5) 委員の委嘱

- 空港舗装研究委員会
 コンクリート舗装部会
 部会長 国分 正胤 東京大学
 委員 若股 俊司 日本構造橋梁研究所
 伊東 茂富 建設省土木研究所
 樋口 芳明 国鉄鉄道技術研究所
 村田 二郎 東京都立大学
 平出 啓完 運輸省航空局建設課
 青山 一 運輸省 第二港湾建設局東京空港工事事務所
 石野康太郎 〃 工務課
 山崎 寛司 日本セメント研究所
 柳田 力 建設省土木研究所
 松本 嘉司 東京大学
 野口 功 日本鉄道建設公団
 小林 正弘 東京大学
 萩原 浩 建設省関東地方建設局
 波木 守 小野田セメント技術研究所
 富永 了一 空港公園建設事務所
 多久和 薫 〃 工務第二課
 斎藤 泰二 〃 工務第一課
 委員兼幹事 赤塚雄三 運輸省港湾技術研究所
 加川道男 空港公園工務第一課
 幹事 長滝 重義 東京工業大学
 飯島 尚 建設省土木研究所
 川口 昌宏 日本大学
 森口 拓 運輸省港湾技術研究所
 アスファルト舗装部会
 部会長 谷藤 正三 日本大学
 委員 渡辺 隆 東京工業大学
 大島 哲男 日本道路公園工務部
 関 勇三郎 日本道路公園 高速道路試験所
 平出 啓完 運輸省航空局建設課
 青山 一 運輸省 第二港湾建設局東京空港工事事務所
 石野康太郎 〃 工務課
 稲田 太 運輸省航空局建設課
 菅原 照雄 北海道大学
 多田 宏行 建設省道路局
 岩瀬 正 東京都土木技術研究所
 南雲 貞夫 建設省土木研究所 千葉支所
 田中淳七郎 建設省
 三浦 裕二 日本大学
 斎藤総一郎 国学院大学
 富永 了一 空港公園建設事務所
 多久和 薫 〃 工務第二課
 斎藤 泰二 〃 工務第一課

- 委員兼幹事 松野 三朗 建設省土木研究所 千葉支所
 須田 照 運輸省 港湾技術研究所
 加川 道男 空港公園工務第一課
 幹事 植下 協 名古屋大学
 木村 孟 東京工業大学

◎昭和41年度第2回定例評議員会(42.5.16)出席者:(北海道)小川,(東北)佐藤,岩崎,(関東)有江,大島,村上,村田,金沢,堺,神保,(中部)小栗,長坂,杉山,細井,小野,(関西)伊藤,倉田,丹羽,明石,畑中,三野,(中国四国)網干,大塚の各評議員。別に委任状35通,計58名,理事者:篠原会長,羽田専務理事。記事:会長挨拶;学会の会員数,財政,出版活動等の状況を説明,41年度事業報告,決算等総会提出議案の審議を願いたしと挨拶。議長選任;会長の指名により有江義晴氏を満場一致選任。議事録署名者の決定;有江議長,堺,神保両評議員。議事:1)総会提出議案;議案 1) 昭和41年度事業報告,議案 2) 昭和41年度決算報告,議案 3) 名誉会員の推挙について羽田専務理事より説明があり承認。報告;評議員会の決議事項,表彰;土木学会賞および吉田研究奨励金の授与につき羽田専務理事より説明があり承認。2) 基金繰入について藤本経理課長より説明,原案のとおり可決。3) 昭和42年度役員について;昭和42年5月12日第12回定例理事会において開票の結果を,羽田専務理事より報告,了承。

◎各種委員会

- (1) 論文集編集委員会各部会(42.4.6)出席者:都副委員長,西村,嶋,池田部会長,ほか27名。議事:1)各部会ごとに審査中原稿の報告。2)各部会ごとに新規受付原稿審査委員の決定。3)委員の交代について。4)その他。
- (2) 論文集部会長会(42.4.13)出席者:村上,都正副委員長,西村,池田,嶋部会長,ほか2名。議事:1)各部会報告。2)論文集第142号,143号登載原稿の決定。3)討議原稿について。4)委員の交代について。5)その他。
- (3) 第2回岩盤力学委員会(42.4.21)出席者:岡本委員長,ほか20名。議事:1)委員長挨拶。2)事業報告。3)事業計画。4)第2回岩の力学国内シンポジウム(1967)について。5)国際岩盤力学協会経過報告。
- (4) 第108回耐震工学委員会(42.4.21)出席者:那須委員長,岡本副委員長,ほか9名。議事:1)前回議事録の確認。2)本州四国耐震設計小委員会について。

3) 軟弱地盤耐震設計研究委員会について。4) IAEE について。5) IAEA パネル討論会について。

(5) トンネル工学委員会運営小委員会(42.4.21)出席者:加納委員長,ほか13名。議事:1)第1回本委員会について。2)小委員会委員長の選定(内定)。3)外国トンネルと実情調査について。4)その他。

(6) 異形鉄筋設計例改訂小委員会(42.4.21)出席者:国分委員長,ほか12名。議事:異形鉄筋設計例の逐条審議。

(7) 高校土木教育研究委員会「夏期講習会」打合せ(42.4.22)出席者:講師;山本,堀井の両氏,ほか6名。議事:工業高校土木科教諭を対象とする講習会の開催について;1)テーマについて。2)テキストに関して。3)実習などの方法について。4)見学会について。5)その他。

(8) 本州四国連絡橋技術調査委員会打合せ(42.4.24)出席者:関係者10名。議事:省略。

(9) 空港舗装研究委員会 準備打合せ(42.4.24)出席者:関係者23名。議事:1)経過報告。2)委託事項の説明。3)委員会の名称および組織。4)委員会の人的構成。5)委員会の今後の活動予定。6)その他。

(10) 空港舗装研究委員会 準備打合せ(42.4.25)出席者:関係者6名。議事:空港舗装研究委員会の構成につき下打合せを行なった。

(11) 本州四国第18回基礎に関する専門部会(42.4.26)出席者:関係者34名。議事:省略。

(12) PC工法小委員会(MDC工法)(42.4.26)出席者:国分委員長,河野主査,ほか16名。議事:プレストレストコンクリート設計施工指針(案)MDC工法編の逐条審議。

(13) トンネル用鋼アーチ支保工の強度に関する研究委員会第4回幹事会(42.4.27)出席者:関係者5名。議事:1)昭和41年度報告書(案)のとりまとめ。2)次回委員会について。

(14) 原子力土木技術委員会 IAEA パネル打合せ(42.4.28)出席者:左合委員長,ほか5名。議事:パネル討論会原稿のとりまとめ。

(15) 本州四国第2回主査打合せ(42.5.1)出席者:関係者24名。議事:省略。

(16) 第3回大学土木教育委員会(42.5.2)出席者:林委員長,ほか15名。議事:1)幹事会とりまとめ報告。2)大学土木教育に関するアンケート(案)について。3)大学卒業生の量的需要に関する

アンケート(案)について。4) 土木年鑑「教育および技術者」原稿執筆の件。5) 大学土木教育関係原稿の会誌投稿の件。

(17) 本州四国連絡橋打合せ(基礎関係)(42.5.2) 出席者: 関係者 9名。議事: 省略。

(18) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会工場製品分科会(42.5.2) 出席者: 国分委員長, 杉木主査, ほか 15名。議事: 省略。

(19) 土木製図基準改訂委員会打合せ(42.5.2) 出席者: 菊池委員長, ほか 6名。議事: 先に刊行(4月15日発行)した土木製図基準(改訂版)の訂正箇所の検討と増刷の時期(5月末を目標とした)および発行部数を話し合った。

(20) 高校土木教育研究委員会「土質実験指導書」分科会(42.5.8) 出席者: 筋内委員長, ほか 3名。議事: 1) 土質実験指導書(改訂版)(42年3月発行)についての意見。2) JIS A 1210 土の突固め試験法の大幅改訂にともなう本指導書の改訂について。3) その他。

支 部 だ よ り

◎関東支部

(1) 第8回幹事会(41.12.13, 栄林) 出席者: 富山支部長, 堺幹事長, ほか 7名。議事: 刊行物販売について。

(2) 第9回幹事会(42.2.22, 土木学会) 出席者: 富山支部長, 堺幹事長, ほか 4名。

(3) 関東地区評議員会(42.2.6, 土木学会) 出席者: 富山支部長, ほか 21名。議事: 役員候補者選考委員会につい

て。

(4) 関東地区役員候補者選考委員会(42.3.2, 土木学会) 出席者: 8名。議事: 役員候補者選考について。

◎関西支部

(1) 講習会「水理学・水文学における最近の進歩」(42.3.27~28, 大阪科学技術センター)

共催: 土木学会関西支部・土木学会中部支部

題目と講師:

(1) 河川工学

1.1 河川工学における最近の進歩

○大阪大学教授 工博 室田 明
名古屋大学教授 工博 西畑 勇夫

1.2 河川の汚濁 神戸大学助教授

清水 進

1.3 河川の乱れ 京都大学助教授

農修 余越正一郎

1.4 河口湖淡水化 京都大学助教授

農博 南 勲

1.5 洪水処理計画 京都大学助教授

工修 長尾 正志

1.6 ダム下流の河床低下

岐阜大学助教授 M.S 河村 三郎

(2) 水理学

2.1 水理学における最近の進歩

京都大学教授 工博 岩佐 義朗
○名古屋大学教授 工博 足立 昭平

2.2 不等流の差分計算

名古屋大学教授 工博 足立 昭平

2.3 彎曲部の流れ 京都大学助教授

工博 村本 嘉雄

2.4 開水路流れにおける乱流拡散過程

京都大学助教授 工修 今本 博健

2.5 ジェット流 大阪大学講師

工修 村岡 浩爾

2.6 開水路分流の水理

京都大学助教授 工修 中川 博次

(3) 水文学

3.1 水文学における最近の進歩

○京都大学教授 工博 石原 安雄
金沢大学助教授 工修 高瀬 信忠

3.2 貯水池堆砂量の推算について

大阪大学教授 工博 室田 明

3.3 地下水流出 京都大学講師

工修 高木 不折

3.4 低平地の流出 京都大学助教授

農修 豊国 永次

3.5 土砂の流出 京都大学助教授

工博 土屋 義人

3.6 確率洪水の推定 金沢大学助教授

工修 高瀬 信忠

特別講演 京都大学教授 工修 石原藤次郎

(4) 海岸工学

4.1 海岸工学における最近の進歩

○京都大学教授 工博 岩垣 雄一

名古屋工業大学教授 工博 細井 正延

4.2 湾内の流れ 京都大学助教授

理博 樋口 明生

4.3 海岸の模型実験 京都大学助教授

工修 野田 英明

4.4 漂砂 大阪大学助教授

工博 榎木 亨

参加者: 227名

参加費: 会員 1500円, 非会員 2000円

(2) 会員懇親パーティー(若い会員対象 42.3.27, 大阪科学技術センター)

参加費: 49名(内招待関係9名)

参加費: 200円

(3) 講師懇談会(41年度行事各講師招待 42.3.28, 大阪科学技術センター)

出席者: 31名

(4) スウェーデン学生交歓会(シャルマー大学学生と関西地区学生会員交歓, 42.4.3, 大阪旅行会館) 参加者: 121名, スウェーデン側 72名(内教官1名) 日本側 49名(内教官4名)

(4) 第12回幹事会(42.4.12, 中央電気倶楽部) 出席者: 伊藤幹事長, ほか 14名。

(6) 第10回騒音振動委員会(42.3.29, 好文倶楽部) 出席者: 庄司委員長, 畑中幹事長, ほか 12名。

編 集 後 記

今月は広島大会の模様を特集致しました。総会, 総合講演会, 年次学術講演会, 懇親会, ならびに見学会は, 会員皆様多数の参加を得て盛会裡に終わりました。各関係の記事より, 大会に参加されなかった会員の方々もその様子はおわかり頂けたものと思います。

年々増加の一途をたどる学術講演は, 本年は約740編の申込みがありました。全般的に一般報告の形式が採用され, 各部門3会場・合計12会場にて開催されたのですが, 1日半で完了するには講演数が多く, 限度に達したように思われます。昨年まで年次学術講演会関係の記事は, その他の記事とは別に8月号に登載されていましたが, 本年はこれも同時に7月号で取り上げましたので, 名実ともに大会の特集となっております。ただ, 会誌紙

数の関係で, 700編以上にもものぼる各講演の内容紹介は, 本年より残念ながら省略せざるを得ませんでした。研究のすう勢その他は, 充実した総括報告によって十分ご理解頂けたものと存じます。総括報告をして下さいました各位に, 深甚なる謝意を表します。

会誌第52巻第4号で皆様にお伝えしましたとおり, 今般会誌の投稿関係の規則等が一部変わりました。論説, 報告, 展望, 資料, 解説, 寄書欄に投稿される場合は, 「主旨」欄を設け約400字をもって当該論文の内容が, 現時点における関係分野での問題点との関連, および論文が何を読者に知らせようとしているかを簡明に書いていただくこととなりました。投稿に際しましては, 十分ご留意下さいますようお願い申し上げます。

(船越 稔・記)